

三越伊勢丹ニッコウトラベル支部

2022年6～7月

テーマ別 VOICE 資料

＜今回のテーマ別 VOICE の位置づけ＞

今回は、2022年度春の交渉で整理した「添乗業務の評価制度運用」における目標設定について、その運用の実態を検証することを目的として、メンバーの皆さまと意見交換を行いたいと考えています。

○配布対象者：社員、エルダースタッフ※非組合員含む



三越伊勢丹グループ労働組合
Isetan Mitsukoshi Group Labor Union

1. 添乗業務の評価制度運用の検証について

1. 添乗業務の評価制度運用について【報告事項】

1) 2021 年度通年協議の経緯について

添乗業務の評価については、2021 年度の労使通年協議の中で、M I N Tとしての評価制度のあり方も含め検討を行ってきました。

添乗業務については、原則として、所属に関わらずステージB以下の社員全員が添乗業務の目標を設定することを前提としています。

2) 今回のテーマ別 VOICE の目的について

2022 年度については、添乗関連業務の評価制度の運用定着を目的とした対応を行います。

上期目標設定およびその面談が終了したこのタイミングで、目標設定の段階における課題はなかったか、その実態の検証を行います。

具体的には、評価者、被評価者に分かれて、面談を含めた上期目標設定を振り返っていただき、ご意見を伺いたいと考えています。

3) 今後のスケジュールについて

今回のテーマ別 VOICE で得たメンバーのご意見は、今後の労使協議の中で会社とも共有し、議論を進めていきます。

また、上期および上期フィードバック面談終了後のタイミングにて、評価段階における運用の課題はないかの確認を目的としたテーマ別 VOICE も実施予定です。

1. 参考 2022 年度春の交渉の議案書（該当箇所抜粋）

4. 添乗業務の評価制度運用について【報告事項】

1) 考え方について

添乗業務の評価については、添乗手当の位置づけと合わせて、MINTとしての評価制度のあり方も含め検討をおこなってきました。

添乗手当は、一律の手当と設定とする中で、添乗業務の評価は、他の業務と同様に主業務と位置づけ、成果評価シートによる評価反映（本給・賞与）をおこないます。

更に、添乗業務については、全員添乗との考え方から、原則として、所属に関わらずステージB以下の社員全員が添乗業務の目標を設定することを前提とします。

（※添乗業務をおこなうために必要な旅程管理主任者の資格を有していない場合は、2022年度中の資格取得を目指します。

2) 2022 年度の評価制度の運用について

添乗業務の評価については、評価者（上長）が状況を確認できない中での運用となるため、どのような目標設定があるべきか、どのように評価していくのかという点について、特に検討をおこなってきました。

また、ボイスなどにおいても、適正な運用ができるのかといった意見も頂きました。

上記を踏まえて、2022 年度については、評価制度の運用の定着を目的とした対応をおこないます。

具体的には、成果評価シートに目標設定をおこなうことの定着に重きを置き、ウエイトは部署ごとに統一（10%～最大 30%）します。

目標設定の内容は、添乗業務関連において伸ばしていきたいことや、克服したいことなどを上長と面談の上、個別に目標設定をしていく運用とします。

上長による評価について、準備・報告などの添乗前後の関連業務はもとより、添乗中の評価については、報告書やその他の提出資料も参考としながらおこなうこととします。

また、2022 年度の評価制度の運用は、トライアルと位置づけ、運用状況を検証しながら、引き続き検討をおこなっていきます。

※検証など、次年度の取り組みは P50 参照。

<具体的な運用の内容>

目標 設定内容 (例)	<ul style="list-style-type: none">お客様の満足度を高めることが目的の目標設定。日常業務との両立に対し、効率化に繋げることが目的の目標設定。添乗業務について、自身のスキルアップに繋げることが目的の目標設定。旅程管理主任者資格を取得し、添乗業務をおこなうことが目的の目標設定。 など
評価の ポイント	添乗中の成果行動は、添乗終了後の報告書をベースに、その他の提出資料も参考としながら上長が評価。
設定方法	期初に上長と面談の上、個別に設定
ウエイト	10%～最大 30%（ウエイトは所属ごとに統一）

※所属ごとのウエイトについては、労使で確認をおこないます。

3) 2022 年度以降の添乗評価のイメージ

添乗の評価について、2022 年度はトライアルの位置づけとしながら検証もおこない、2023 年度には、通常の運用（ウエイトは個別に設定など）としていくことを想定しています。

<評価制度の運用イメージ>

	2021 年度までの運用	2022 年度の運用	2023 年度以降（想定）
位置づけ	評価制度での運用無し	トライアルによる運用開始	検証を踏まえ通常運用開始
運用方法		・成果評価シートによる運用 ・ウエイトは最大 30%	・成果評価シートによる運用 ・ウエイトは個別に設定
備考	お客様アンケートによる添乗ランクの設定を踏まえた運用	・ボイスや機関会議などで、運用状況の検証 ・検証を踏まえ、専門協議会で対応の協議	

5. 2022 年度の添乗関連の検討について【報告事項】

添乗関連については、2022 年度の労使通年協議でも、引き続き、改定に向けた検討や運用状況の検証などについて幅広く取り組んでいく予定です。

1) 付加添乗手当（報奨金）の廃止も含めた検討

報奨金については、一部の運用を見直しながらも、次年度も継続をおこなっていきませんが、評価制度との整理をすすめる中で、廃止の選択肢も含めた検討をおこないます。

仮に廃止とする場合は、報奨金の原資について、添乗手当などメンバーの処遇に関わるに他の項目に上乗せし、活用していくことも想定しています。

2) 添乗業務の成果評価シートによる運用の検証

添乗業務の評価については、MINT の評価制度により、成果評価シートによる運用をスタートしていきませんが、評価のフィードバックなど、一連の評価フローの運用について、状況の確認や検証をおこなっていきます。

検証にあたっては、必要に応じた対応や見直しなども柔軟におこなっていきます。

※組合としては、テーマ別ボイスも必要に応じて開催し、メンバーと直接意見交換をする場も設けていきます。

3) 添乗業務の働き方や運用の検証

添乗業務の働き方や運用については、2020 年度（海外ツアー中止前）に、計画的な業務遂行に向けた、アサインルールの明確化と運用の徹底（添乗 2 ヶ月前までのアサイン）などを確認していました。

2022 年度は、海外ツアーの再開が見込まれていることから、あらためて運用状況の確認をおこなっていきます。

【労働組合からのお知らせ】

LINE@お友達募集中!!
LINE@を登録しよう! *労働組合の活動報告や、
 *共済会のお得情報をいち早くお届け!!

三越伊勢丹グループ労働組合公式 **LINE@**

LINE@では、メンバーの皆さんへ労働組合や共済会からのアンケートやイベントの募集などを行える広報ツールとして活用してまいります。

〈LINE@登録方法〉

- 1 LINEを起動
- 2 「友達追加」をタップします
- 3 QRコードで検索
- 3 IDで検索
- 4 QRコードをタップして右上のQRコードを読み取ります
- 4 IDで検索する場合は、IDをタップして「@imgu」で検索してください

三越伊勢丹グループ労働組合が表示されたら追加をタップします

◆HP閲覧時の、ユーザーID：ご自身の社員コード10桁 パスワード：im を入力!!

労働組合：801-23-911 / 共済会：801-23-914

三越伊勢丹グループ労働組合(IMGU)
 公式マスコットキャラクター
「イングちゃん」です♪
 皆さんよろしくお願ひしますうさ~♡🐰



Twitterの登録をよろしくうさね! 🐰
 IMGUの活動やグループ各地域の紹介をしているうさよ 🐰



イングちゃん🐰 三越伊勢丹グループ労働組合 (IMGU) 公式マスコットキャラクター
 @imguimgu1

#三越伊勢丹グループ労働組合 (IMGU) #公式マスコットキャラクター #イングちゃんですうさ🐰 教わったことや、知ったこと、すごいと思ったこと、面白いと思ったことなどをつらやうさよ~🐰! 全国の事務所周辺の紹介もしていきます仲良くしてくださいね~うさ🐰

イングちゃん🐰 三越伊勢丹グループ労働組合 (IMGU) 2月10日9日...
 おはうさ~🐰
 前回の出張時に#広島三越の隣にある*菓子神社へお参りに行ってきたうさよ🐰
 店舗のお隣りとは聞いていたけれど、ほんとにゼツリ業にあってびっくりしたうさね🐰!!🐰
 なんと418年も前からずっとこの地で親しまれている「商売の神様」! 今後ともよろしくうさよ~🐰🐰🐰



自己啓発支援制度の申請は メールでも可能です!

メールでの申請
jikokehatsu@imgu.or.jp

※領収書が紙の場合 現物の提出が必要です。

※従来の送達や持参での申請も可能です。

自己啓発支援制度 は三越伊勢丹グループ企業に雇用される従業員の自己啓発にかかる費用を補助する制度です

- ◇ 組合員: 総額に対して $\frac{1}{2}$ 年間利用総額 40,000円/人
- ◇ 非組合員: 総額に対して $\frac{1}{4}$ 年間利用総額 20,000円/人

※ 詳細は右のQRコードからご参照ください